

米軍Xバンドレーダー基地撤去！ 東アジアの平和を！

6・3 京丹後総決起集会へ！

すべての仲間のみなさん！京丹後の米軍基地の撤去を要求し、東アジアの平和をめざす6月3日の京丹後総決起集会へのご参加を呼びかけます。

- 日時：2018年6月3日（日）
13時 集会開始
集会後、基地に向けてデモ
- 会場：久僧公民館（旧宇川農業会館）
- ゲスト：沖縄（山城博治さん）
韓国から
- 参加費：無料（会場カンパあり）
- 主催：米軍Xバンドレーダー
基地反対・近畿連絡会
協賛：米軍基地建設を憂う宇川有志の会



6・4京丹後総決起集会デモ（2017.6.4）

●基地を固定化する二期工事反対！米軍基地を撤去せよ！

京丹後の米軍基地が運用を開始してから3年余、米軍基地の建設は現在もなお継続しています。この4月には、駐留する米軍人の居住施設の建設を中心とする基地建設二期工事が約2年の工期で開始されます。二期工事は、米軍基地をますます固定化するものであり、私たちは断固として反対します。また、基地の東側の三角地も基地に組み込まれ、基地の拡大が進められています。さらに駐留する米軍人・軍属の実弾射撃訓練が福知山の自衛隊の射撃場に移転されるなど、米軍関連施設も拡大してきました。他方で、米軍基地に隣接する自衛隊基地もまた、いっそう巨大なものに建て替えられました。

京丹後の米軍基地は、住民の安全・安心を脅かすものです。基地からの騒音は住民の安眠を妨げ、米軍人・軍属による交通事故はすでに59件に達しています。それだけではありません。東アジアで戦争がおこれば、京丹後の米軍基地は標的のひとつとなります。若狭湾岸に存在する原発群に戦火が及び、原発が破壊されるような事態となれば、近畿から東海・北陸などの広範な地域が（裏面へ続く）

米軍Xバンドレーダー基地撤去！東アジアの平和を！ 6・2連帯交流集会

- 日時：6月2日（土）15時～18時
- 会場：東山いきいき市民活動センター 二階集会室
- ゲスト：沖縄（山城博治さん） 韓国から
- 内容：沖縄・韓国のゲストのお話と質疑・意見交換
- 主催：米軍Xバンドレーダー基地反対・近畿連絡会
- 資料代：500円



ゲストの 山城博治さん

放射能で汚染されるという大惨事となります。私たちは、基地のない平和な京丹後を子どもたち、孫たちに受け継いでいきたいという地元の住民の願いと結びつき、米軍基地・自衛隊基地の撤去をあらためて要求します。

● 東アジアの平和にむけた歴史的転換点をつくりだそう！

戦争の危機が続いてきた東アジアでは、朝鮮民主主義人民共和国（以下、朝鮮）の平昌オリンピックへの参加から、新たな対話の流れが生みだされてきました。それは、4月末の朝鮮南北首脳会談、5月の米朝首脳会談の開催合意にまで至りました。これらは朝鮮半島南北の民衆、東アジアの民衆の何としても戦争を避けたいという平和への願いを反映したものでした。

しかし、米国のトランプ政権は延期されてきた巨大な米韓合同軍事演習を4月に実施し、朝鮮に対する過酷な制裁を継続しています。また、2004年の米国によるイラク戦争開戦を推進し、イランへの武力行使を主張するジョン・ボルトンを大統領補佐官（国家安全保障問題担当）に任命しました。トランプ政権は、対話の流れがとん挫すればいつでも朝鮮を武力攻撃する態勢を維持しています。そして、武力で朝鮮を脅し、屈服することを迫っているのです。東アジアの平和にむけた対話と米韓合同軍事演習は両立しません。朝鮮は「対話が続いている間は核実験やミサイル発射実験を行わない」と表明しています。トランプ政権もまた、「行動対行動」の原則にもとづき、朝鮮を対象にした米韓合同軍事演習、米日合同軍事演習を中止すべきなのです。私たちはこのことを強く要求し、朝鮮戦争を終結させる平和協定の締結を実現することをもって東アジアの平和への歴史的転換点をきり開いていかねばなりません。

● 自衛隊の海外派兵阻止！安倍の憲法改悪を許さない！

安倍政権は、「対話のための対話に意味はない」などと罵倒し、東アジアの平和に向けた対話の障害物、トランプ政権とならぶ戦争の危機の元凶となってきました。そして、「北朝鮮の脅威」を口実に、集団的自衛権の行使に道をひらく安保関連法を制定し、いま憲法改悪に突き進もうとしています。安倍の憲法改悪は、9条の改悪によって自衛隊の海外派兵、海外での武力行使をおし広げ、さらには緊急事態条項の新設をもって主権在民から国家主権への転換を推進しようとする危険きわまりないものです。

これらの動きを貫くものこそ、ますます拡大する日本の海外権益を自らの軍事力をもって防衛できるようにしたいという日本の独占資本、多国籍資本の要求です。日米同盟においては、沖縄から台湾、フィリピンへと至る「第一列島線」（東アジア）の防衛については主に自衛隊が担当するという方向で再編が進められています。安倍政権は、そのために沖縄・辺野古新基地建設や岩国基地の大強化を推進してきました。そして、陸上自衛隊の統合司令部（陸上総隊）を新設し、長崎県の陸自相浦駐屯地には武力をもっての上陸作戦を任務とする水陸機動団（日本版海兵隊）を駐留させようとしています。まさに自衛隊の銃口は東アジアの民衆に向けられているのです。

● 安倍政権打倒！京丹後総決起集会に結集しよう！

6月3日の京丹後総決起集会は、基地を固定化する二期工事と対決し、安倍政権による自衛隊の海外派兵・憲法改悪を阻止し、東アジアの平和を民衆の国際連帯をもってめざしていく取り組みです。また、その前日の6月2日には、京丹後総決起集会に参加する韓国・沖縄のゲストを囲んでの連帯交流集会が開催されます。安倍政権は、森友問題での公文書改ざん事件で窮地に陥り、安倍政権を打倒する絶好の機会が訪れています。すべての皆様のご参加を呼びかけます。

米軍Xバンドレーダー基地反対・近畿連絡会

【代表世話人】 服部良一 大湾宗則

【連絡先】 京都市上京区四番町 121-5 大湾宗則 TEL/FAX 075-467-4437